



就任のごあいさつ



福智町長 浦田 弘二

過日行われました町長選挙で、当選させていただきました旧赤池町長の浦田でございます。就任にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

ご承知のように、平成の大合併、と言われる中で、次々と新しい自治体が生まれていますが、この田川地区では、初のケースとして福智町は誕生しました。それだけに、地区内外の注目度も高く、今後のまちづくりに多くの関心が寄せられています。だからと云うわけではありませんが、今までの行政のあり方を根本的に見直し、町民の方々に愛着心と安心感を持っていただけるような地域づくりが、何よりも求められるのではないかと考えています。そのためには、常に町民のみならずと行政が双方方向に交流をし、心を一つにして、福智町という伝統と風土をつくり上げていかなければならないと考えています。具体的には、広報活動の充実や地域懇談会（タウンミーティング）の開催などを通して、地域と役場の一体感を醸成していきたいと思っています。ところで、福智町は誕生したばかりですが、多額な借金を抱えています。この状況の改善なしに、将来のまちづくりは語れません。まずは、町民のみならずのご理解とご協力をいただきながら、財政再建に全力を傾注したいと存じます。また、真に自立した町になるためにも、自らの財源を増やす方策を早急に講じていきたいと思えます。更に、行政の一翼を町民の方々に担っていただく取り組みも検討し、その環境づくりを急ぎたいと考えています。かつて、ある会社のキャッチコピーに、*時は流れない、それは積み重なる。*という文句が使われましたが、新たなふるさと福智町も、時の流れとともに、私達一人ひとりの力と知恵を重ね合わせ、他に誇れる伝統と風土を身に付けていかねばと思っています。

私の座右の銘は「己を尽くして人を咎めず、我が誠の足らざるを常に尋ぬべし」ですが、これを初心として、誠心誠意、ふるさと発展のため頑張りますことを、お誓い申し上げ、ご挨拶とさせていただきますと思います。どうか、お力添えを賜りますよう、伏してお願いいたします。

住

民が公選した議員によって組織された住民の意思を代表する合議制の機関。それが議会です。ここで町の意思が決定されます。議会が「議決機関」と呼ばれるのに対し、町長や行政委員会（教育委員会など）は「執行機関」と呼ばれ、両者は独立した対等の立場にあります。議会と行政が、互いの立場を尊重しながら町の発展という目標に向かって進んでいくことから、よく「車の両輪」にも例えられます。福智町議会では、旧町から引き継いで46人の議員が、平成19年4月30日までの任期で就任（その後の定数は20人）します。「広報ふくち」では今回、住民の代表である

46人の議員をご紹介しながら、議会の役割や仕組みを臨時会の結果とあわせてお知らせします。

議会

特集

本庁4階にある福智町議会の議場。現在、本会議は地域交流センター（伊方）で行われている。選挙後の議会からここで本会議が開かれることになる。